

議事概要

藤沢市政策会議を次のとおり開催した。

会議名	令和5年度第5回政策会議
開催日	2023年(令和5年)6月29日(木)8:30~9:00
場 所	本庁舎6階 庁議室
出席者	鈴木市長、和田副市長、宮治副市長、岩本教育長 (政策会議委員) 総務部長、企画政策部長、財務部長、防災安全部長、市民自治部長、生涯学習部長、福祉部長、健康医療部長、保健所長、子ども青少年部長、環境部長、経済部長、計画建築部長、都市整備部長、道路河川部長、下水道部長、市民病院事務局長、消防局長、教育部長、議会事務局長、監査事務局長、選挙管理委員会事務局長、農業委員会事務局長
議 事	(1) 議題(審議事項) 1 「藤沢市公共施設再整備等における一次エネルギー消費性能暫定基準」について(企画政策部) 2 令和5年度9月補正予算編成について(財務部) (2) 報告・情報提供等 ア 令和6年度予算編成に係る重点化事業レビュー(理事者ヒアリング)の実施について(企画政策部) イ 令和6年度神奈川県の実策・制度・予算に関する要望(藤沢市要望事項)について(企画政策部) ウ chatGPT(生成AI)の実証について(企画政策部) エ 第48回藤沢市民まつりについて(市民自治部)
内 容	1 開会 2 市長あいさつ 3 議事 (1) 議題(審議事項) 1 「藤沢市公共施設再整備等における一次エネルギー消費性能暫定基準」について (説明者:企画政策部長) □企画政策部長から、資料に基づき概要説明が行われた。 《内容》 「藤沢市公共施設再整備等における一次エネルギー消費性能暫定基準」の制定について、審議するもの。 《主な意見等》 ○暫定基準ということだが、本基準は計画建築部で策定するのか。 ⇒本基準についても、企画政策部で策定する予定である。策定にあたっては計画建築部、環境部とも連携を図っていく。

《結果》

了承。

2 令和5年度9月補正予算編成について

(説明者：財務部長)

□財務部長から、資料に基づき概要説明が行われた。

《内容》

令和5年度9月補正予算を編成するにあたり、補正予算編成方針等を報告するもの。

《主な意見等》

なし。

《結果》

了承。

(2) 報告・情報提供等

ア 令和6年度予算編成に係る重点化事業レビュー(理事者ヒアリング)の実施について

□企画政策部長からの概要説明については省略。

《内容》

令和6年度当初予算編成における重点化事業費を指定するに当たり、令和6年度予算重点化事業(候補)について、重点化事業レビュー(理事者ヒアリング)を実施するもの。

《主な意見等》

なし。

イ 令和6年度神奈川県の実策・制度・予算に関する要望(藤沢市要望事項)について

□企画政策部長から、資料1～2に基づき概要説明が行われた。

《内容》

令和6年度の神奈川県に対する実策・制度・予算に関する要望(藤沢市要望事項)について、7月14日から本市選出神奈川県議会議員等に対して要望活動を行うため、その内容について報告するもの。

《主な意見等》

なし。

ウ chatGPT(生成AI)の実証について

□企画政策部長から、資料に基づき概要説明が行われた。

《内容》

生成 AI である「chatGPT」を実証するにあたり、実証スキームや対象部局及び今後のスケジュール等について周知するもの。

《主な意見等》

○入力情報は OpenAI 社側に学習されず、履歴も廃棄対応されるにも関わらず、実証において個人情報の入力が禁止とされている理由は何か。個人情報を扱った際の問題点等も含め検証すべきではないか。

⇒藤沢市情報セキュリティポリシーにおいて、個人情報をインターネット環境において取り扱うことは禁止されており、今回の実証においても大前提となる。それに沿った対応である。

○内部の実証の場であれば、ルールに捉われず個人情報を取り扱うことによってどのような問題が生ずるかについても検証することが有意義であると考えます。

⇒今回の実証と、藤沢市情報セキュリティポリシーの整合性についてデジタル推進室と情報システム課で協議し、対応したい。

⇒個人情報の取扱い等、センシティブな部分については、外部の専門家の意見も聞きながら進めることも必要である。

⇒例えば架空の個人名を使用するなどして、どのようなデータが生成されるか等、個人情報を取り扱う上でのリスクや課題点を明らかにすることが必要である。

○1次実証では、対象となる部局が限定されている。生成 AI の活用に係る報道等では、イベントのタイトルの考案に活用する例も見られるので、例えば経済部も対象にするのが良いのではないかと。また、2次実証で新たに対象となる部局の範囲と、本格運用の想定時期についても伺いたい。

⇒いただいた意見を踏まえ、2次実証の部局について今後検討していきたい。本格運用については、必要なアカウント数を精査した上で予算措置も必要になるため、来年度以降を想定している。

○生成 AI 市場が活況を呈している。世の中に溢れている様々な情報を精査して進めていく必要があると考える。既に日本語対応の生成 AI も開発されているので、今回実証するシステム以外のものについても併せて検討を進めるのが好ましい。また、chatGPT の名称は OpenAI 社の登録商標であることから、取り扱いに注意する必要がある。

○今回の実証では、生成 AI による成果物や業務への活用例等は全体に共有されるのか。それともあくまで実証する部局において使用感を確認するものか。

⇒実証対象となった部局から9月にアンケートを取り、その結果を11月以降のDX推進本部会議で共有していきたい。また、並行して

	<p>ガイドラインの策定も進める。</p> <p>エ 第48回藤沢市民まつりについて □市民自治部長からの概要説明については省略。</p> <p>《内容》 第48回藤沢市民まつりの開催に当たり、事業概要を周知するとともに、関係各課へ協力を依頼するもの。</p> <p>《主な意見等》 なし。</p> <p>4 その他 なし。</p> <p>5 閉会</p>
--	--